

引用文献

- 阿部裕(2010). 症状から構成する診断-精神医学で使われる疾患の診断基準. 萱間真美, 野田文隆編集. ころろ・からだ・かかわりのプラクティス P68. 南江堂
- American Psychiatric Association(2000). Quick Reference to the Diagnostic Criteria from DSM-IV-TR first published .United States. 高橋三郎, 大野裕, 染谷俊幸訳 (2002) .DSM-IV-TR 精神疾患の分類と診断の手引き. 医学書院
- 麻場英聖 (2010). 病院ルールの機能に求められているもの. 精神科看護, 37 (3), 11-15.
- 渥美義仁, 門脇孝 (2009). 第二世代 (非定型) 抗精神病薬と糖尿病-血糖モニタリングガイドラインの提案-. 分子糖尿病学の進歩-基礎から臨床まで-. 2009, 91-97.
- 東めぐみ (2005). 糖尿病看護における熟練看護師のケアの分析. 日本糖尿病教育・看護学会誌, 9 (2), 100-113.
- 東美奈子 (2007). 精神障がい者のケアマネジメント. ディスチャージマネジメント. (社) 日本精神科看護技術協会監修. P25. 精神看護出版.
- Benner Patricia(2001). From Novice to Expert: Excellence Power in Clinical Nursing Practice, Commemorative Edition, 1 st Edition, United States. 井部俊子監訳 (2005) .ベナー看護論新訳版-初心者から達人へ-. 医学書院.
- Dixon L, Weiden P, Delahanty J et al. (2000). Prevalence and Correlates of Diabetes in National Schizophrenia Samples. Schizophrenia Bulletin .26 (4), 903-912.
- Expert group (2004). Schizophrenia and Diabetes 2003' Expert Consensus Meeting, Dublin, 3-4 October 2003: consensus summary. The British Journal of Psychiatry 184: s112-114
- 藤内美保, 宮腰由起子 (2005) . 看護師の臨床判断に関する分権的研究-臨床判断の要素および熟練度の特徴-日本職業・災害医学会会報. 53 (4), 213-219.
- Funnell M. (2004). 糖尿病教育および心理社会的介入におけるアウトカム. 黒江ゆり子, 藤澤まこと, 普照早苗ほか訳 (2004). 看護研究. 37 (7) , 553-557.
- 林裕栄, 内田恵美子, 田中敦子 (2010) . 訪問看護ステーションにおける在宅精神障害者の援助実態とその困難性. 訪問看護と介護. 15 (1), 42-46.
- 彦聖美, 佐々木順子, 金川克子, 吉森由香利 (2010). 糖尿病熟練看護師の語る実践しているケア. 石川看護雑誌. 7, 23-32.

- 池淵恵美, 佐藤さやか, 安西信雄(2008). 統合失調症の退院支援を阻む要因について. 精神神経学雑誌. 110(11), 1007-1022.
- 稲垣美智子, 多崎恵子(2004). 糖尿病アウトカム指標開発のプロセス、看護研究. 37(7), 581-590.
- 井上智佳, 林一美(2012). 精神疾患患者を対象とする訪問看護スタッフの困難に関する文献レビュー. 石川看護雑誌. 9, 121-130.
- 石橋照子(2006). 精神科看護師による身体合併症への気づきのプロセス—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて—. 日本精神保健看護学会誌. 15(1), 104-112.
- 石橋照子, 飯塚桃子(2007). 精神病院に入院する統合失調症で糖尿病合併患者の治療状況と管理困難の要因. 日本看護研究学会雑誌. 30(3), 173.
- 石橋照子(2009). 精神疾患患者で糖尿病合併患者の疾病認識に関する研究. 第39回日本看護学会論文集 精神看護. 173-175
- 磯田雄二郎(2003). 精神療法と看護との重なりとは. 精神看護. 6(3), 14-19.
- 萱間真美(1999). 精神分裂病者に対する訪問ケアに用いられる熟練看護職の看護技術—保健婦、訪問看護婦のケア実践の分析. 看護研究. 32(1), 53-76.
- 萱間真美, 田中隆志, 金城祥教ほか(2000). 精神科看護の臨床能力の明確化に関する研究(第2報)(その2)—参加観察法を用いた新人看護者と熟練看護者能力の比較, 精神科看護. 27(8), 44-52.
- 萱間真美(2007). 精神科訪問看護の内容と効果—病棟でのケアとの違いに焦点をあてて—. 精神科看護. 34(7), 12-16.
- 萱間真美(2010). 看護師は何をするのか—精神看護の目標と役割. 精神看護学 こころ・からだ・かかわりのプラクティス. 萱間真美, 野田文隆編集. 南江堂. P12
- 萱間真美(2011). 訪問看護—その誕生と可能性への展望. 臨床精神医学. 40(5), 697-701.
- 河口てる子, 東めぐみ, 横山悦子ほか(2005). 糖尿病自己管理教育(食事療法)の高度専門看護実践アルゴリズム試案. 看護研究. 38(7), 59-72.
- 川添文子, 高宮静男(2009). 糖尿病指導外来における心理社会的アプローチ. 臨床精神医学. 38(9), 1329-1334.
- 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課(2004)地域定着の手引き.
http://www.mhlw.go.jp/kokoro/docs/nation_area_01.pdf[2012-02-01]
- 厚生労働省(2006). 糖尿病等の生活習慣病対策の推進について. 糖尿病等の生活習慣病対

策の推進に関する検討会.

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/08/dl/s0822-3a.pdf> [2012-10-10]

厚生労働省(2008). 精神病床の利用状況に関する調査. 平成 19 年度厚生労働科学研究こころの健康科学事業「精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究, 主任研究者伊豫雅臣

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/09/dl/s0903-7g.pdf> [2012-03-03]

厚生労働省(2009). 精神科訪問看護のケア内容と効果に関する研究. 精神障害者の退院促進と地域生活のための多職種によるサービス提供のあり方とその効果に関する研究

http://www.ncnp.go.jp/nimh/fukki/documents/act21_ito.pdf [2011-12-10]

黒田久美子(2009). 糖尿病患者をめぐる制度の動きと地域連携体制構築のすすめ. 看護. 61 (8), 40-43.

急性期精神科看護研究会(2004). 急性期のとらえ方と急性状態. 統合失調症急性期看護マニュアル. 阿保順子編. すぴか書房

松田幸彦, 中尾夏喜, 和田誠(2008). 統合失調症入院患者に対する 3 年半の栄養管理介入の結果報告. 精神科治療学. 23(11), 1375-1383.

長嶺敬彦(2005). 新規抗精神病薬にみられる身体合併症-The Third Disease-. 薬局. 56(10), 17-26.

永井優子, 山田浩雅, 熊澤千恵ほか(1997). 糖尿病を併せ持つ精神病患者の疾病認識に関する研究-その 2, 精神科の病気と糖尿病に関する対処に焦点をあてて-愛知県立看護大学紀要. 3, 11-19.

永井優子(2005). 糖尿病をあわせもつ精神障害者のセルフケアを促進する看護に関する研究-精神病院の内科外来における実践から-. 千葉大学大学博士論文.

中野真寿美, 森山美知子, 黒江ゆり子ほか(2005). 疾病管理の観点に立った患者特性に応じた 2 型糖尿病のアセスメント・アルゴリズムの開発, 糖尿病. 48(12), 863-868.

日本糖尿病学会(2010). 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2010. 南江堂. 6-39

大川貴子, 中山洋子(2004). 入院精神障害者の身体合併症の実態とケア上の困難さの分析, 日本精神保健看護学会誌. 13 (1) , 63-71.

小澤浩(2011). 薬物療法の実際. 精神疾患/薬物療法. 日本精神科看護技術協会監修. 精神看護出版. 61-82.

Rapp C. (2010). ストレングスモデルケースマネジメント: その思想と科学. 精神リハビリ

テーション誌. 14(1), 6-16.

定村美紀子, 奥野純子, 山川百合子, 柳久子(2011). 地域で暮らす統合失調症患者に対する精神科訪問看護の役割-精神科訪問看護利用者の特性と再入院との関連要因-, 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 34(1), 6-13.

斉二美子(2011). 精神科熟練看護師が捉えたうつ病患者に対する退院支援を判断するための患者の反応と介入過程. 日本精神保健看護学会誌. 20(1), 10-20.

社団法人日本精神保健福祉士協会(2007). 精神障害者の退院促進支援事業の手引き.

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/hokokusyo/20070331-2.htm>[2011-12-10]

清水恵子(2010). 地域で生活する統合失調症患者のメタボリックシンドローム発症に関連する要因の検討-生活習慣病の予防に焦点をあてて-日本精神保健看護学会誌. 19(1), 44-54.

Smith M, Hopkins D, Preveler RC, Holt RI, Woodward M, Ismail K(2008). First- vs. second-generation antipsychotics and risk for diabetes in schizophrenia: systematic review and meta analysis. British Journal of Psychiatry. 192(6) 406-411

Strauss A, Corbin J(1990). 質的研究の基礎グラウンデッドセオリー開発の技法と手順. 操華子・森岡崇訳(2006). 医学書院

竹田雄介, 沢田秋, 水流聡子ほか(2004). 記録における看護行為・用語の標準化 電子カルテに精神科の特徴を反映させるために. 精神科看護. 31(6), 35-40.

高橋克昌(2010). 精神科病院における他科疾患への対応. 成人病と生活習慣病. 40(10), 1127-1131

高橋綾, 清水安子, 正木治恵(2003). 糖尿病患者への看護に熟練した看護師が外来で実践している看護援助について. 埼玉県立大学短期大学部紀要. 5, 11-21

多崎恵子, 稲垣美智子, 松井希代子ほか(2006). 糖尿病患者教育に携わっている看護師の実践に対する思い. 金沢大学つるま保健学会誌. 30(2), 203-210.

棚田芳彦, 高橋治香, 吉本ひとみ(2007). 血糖コントロールができない統合失調症患者に対する看護-治療意欲の向上に向けて関わった I 事例. 中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌. 3, 184-187.

角田秋, 柳井晴夫, 上野桂子ほか(2012). 精神科訪問看護ケアの類型化の検討-訪問看護ステーションが統合失調症を有する人へ提供するケアの類型と対象の特性-. 日本看護科学学会誌. 32(2), 3-12.

山岸直子, 外崎明子(2010). 2 型糖尿病患者に対する熟練看護師の姿勢とアセスメントー食事療法の自己管理が困難な患者の支援に向けてー日本糖尿病教育・看護学会誌. 14(2), 138-146.

吉益晴夫(2006). 抗精神病薬. 精神看護エクスペール 18 精神科薬物療法と看護. 坂田三允 総編集. 中山書店. P42

参考文献

萱間真美(2007). 質的研究実践ノート研究プロセスを進める clue とポイント. 医学書院
山田浩雅, 永井優子, 熊澤千恵ほか(1996). 精神疾患を有する糖尿病患者における疾病コントロールと生活状況. 愛知県立看護大学紀要. 2, 27-36.

永井優子, 山田浩雅, 熊澤千恵ほか(1997). 糖尿病を併せ持つ精神病患者の疾病認識に関する研究-その 1, 精神科の病気と糖尿病に関する認識に焦点をあててー愛知県立看護大学紀要 3, 1-10.

山本則子, 萱間真美, 太田喜久子, 大川貴子(2005). グラウンデッドセオリー法を用いた看護研究のプロセス. 文光堂

Fegerhaugh S. Y. (1982). 参加観察法. 看護研究. 15 (3) , 49-155.

James P(1980). 参加観察法入門. 田中美恵子, 麻原きよみ監訳(2010). 医学書院